

2025年3月期
第2四半期（中間期）決算説明資料〔IFRS〕
 (2024年4月－2024年9月)

株式会社 LIXIL
 2024年10月30日

Copyright © LIXIL Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています
各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	継続事業
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益（CE）
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
	継続事業からの当期利益
	非継続事業
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

本日のポイント

2025年3月期 上期 業績の総括

2025年3月期 上期実績 前年同期比、増収増益

- 国内事業は、新築着工数が予想以上に低下したものの、LWTは新商品やリフォーム向け売上が堅調に推移。LHTは事業の性質上、新築着工数減少の影響をより受けるも、窓リフォームの売上の前年比増で一定オフセット
- 海外事業（LWT）は、欧米および中国の建材・住宅設備景気は低調なるも、構造改革効果や欧州での新商品効果もあり、前年同期比増収増益。金利低下の影響は未だ限定的なるも、今後ペントアップデマンド発現の見込み
- 最終中間利益は、金融費用・税金費用の増加により前年比悪化なるも、2Q3カ月において黒字に転換
- 営業キャッシュフローの改善は継続し、フリーキャッシュフローは前年同期比652億円改善
- 通期配当予想に変更なし。中間配当は、期初予想通りの45円を決議

LIXIL

2

本日のポイント

2025年3月期 足元の事業環境と今後の見通し：国内

LWT事業（日本）

- ✓ 新築向けは低調に推移するも、新商品展開による売上増もあり、リフォーム向け売上は前年比8%増にて推移、好調継続
- ✓ ショールーム来訪者数は、6月以降増加傾向
- ✓ 季節性要因・価格改定効果も加わり、3Qに向けてさらなる収益性改善の見込み

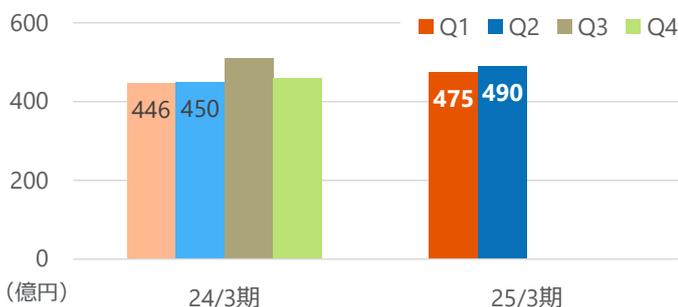


LHT事業（日本・海外）

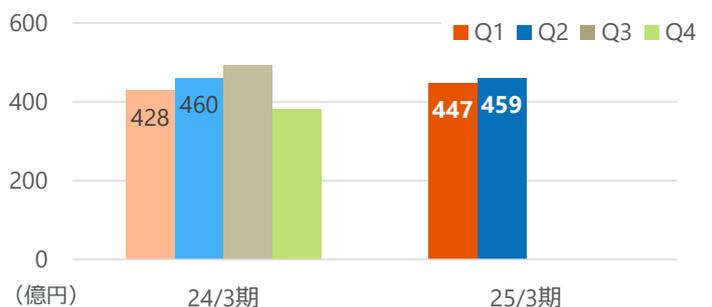
- ✓ 新築着工数低迷による影響は継続
- ✓ リフォーム促進のため、政府補助金・断熱効果への認知度向上策展開中
- ✓ 関係省庁より断熱窓・ドア改修の補助金に対する来期予算要求あり



LWT（日本）リフォーム向け売上



LHT（日本）リフォーム向け売上



LIXIL

3

本日のポイント

2025年3月期 足元の事業環境と今後の見通し：LWT事業（海外）

LWT事業（海外）

- ✓ 主な市場は低調継続なるも、構造改革・新商品効果もあり、ボトムは脱した状況
- ✓ 欧州は構造改革と新商品効果でやや回復
- ✓ 米国の構造改革は順調に進捗中
- ✓ 中国・ベトナムは低迷継続なるも、中東・インドは需要低迷の影響なく好調継続

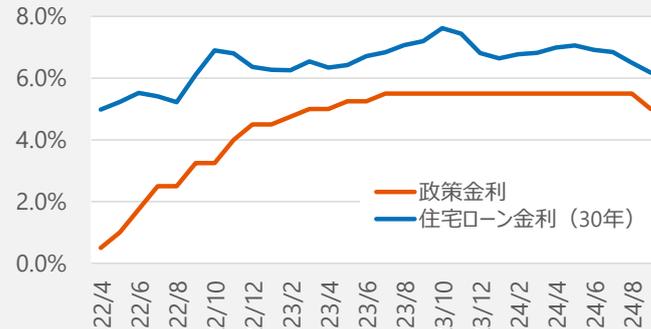


LIXIL (1) 米国連邦住宅金融抵当公庫(Freddie Mac)よりLIXIL作成

米国

- 住宅ローンの固定金利比率が高く、即時の利下げ影響は限定的
- 新築着工数増、中古物件数増加により、来期以降リノベーション市場回復の見込み
- 水栓金具の売上増加、卸向け拡販により利益率改善を目指す

金利の推移⁽¹⁾



4

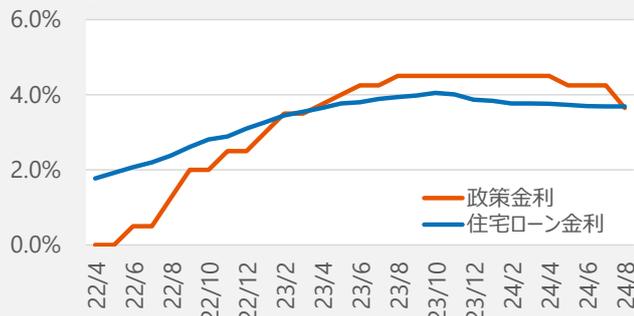
本日のポイント

2025年3月期 足元の事業環境と今後の見通し：LWT事業（海外）

欧州

- 市場の本格回復までは時間を要するも新商品効果・販売施策により売上改善
- 一部地域では住宅ローンの変動金利比率が高く利下げ効果が見込まれるが、住宅市場は未だ低調
- 水栓金具の取り替え需要の回復、構造改革効果も加え、利益率改善見込み

ECB金利の推移⁽¹⁾



中東、アフリカ地域

- 中東は、サウジ・UAEを中心に好調を継続
- 事業基盤の拡大に向け、現地企業とのパートナーシップのもと、GROHE製品の新しい生産拠点をサウジアラビアに新設、稼働開始⁽²⁾
- サウジの国家改革「ビジョン2030」に基づく、「The Red Sea Project」等のインフラプロジェクト向けなど、今後も需要拡大する見込み
- 地政学的影響については今後の動向を注視



LIXIL (1) European Central Bank Data PortalよりLIXIL作成
(2) ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/20240905_saudi (英語のみ)

5

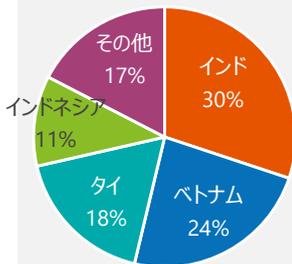
本日のポイント

2025年3月期 足元の事業環境と今後の見通し：LWT事業（海外）

アジア太平洋地域

- ベトナム・タイは不動産不況の影響により低迷継続するも、インドは好調を維持
- インドは人口が増加（平均年齢29.8歳⁽¹⁾）、平均年収が上昇している成長市場。高所得者向けハイエンド商品の需要増加に応じた安定供給が可能

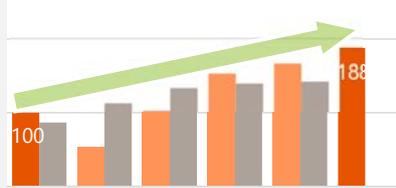
売上構成比率



FYE25 2Q累計売上

インドの売上推移

FYE20上期 = 100とする ■ 上期 ■ 下期



FYE20 FYE21 FYE22 FYE23 FYE24 FYE25

コロナ前のFYE20上期と比較して、FYE25上期の売上が約**1.9倍**に

中国

- 景気刺激策が発表されるも、不動産市況の回復には時間を要する見通し
- 中国ではEコマースが急速に拡大し、専用アプリを通じて消費者と直接つながる機会が拡大。デジタルを通してニーズを把握⁽²⁾
- 「GROHE PureFoam」等、商品開発とイノベーションを進化させる市場としての期待



「GROHE PureFoam」
「KINUAMI」がさらに進化し中国市場で2024年11月から販売予定



(1) 2024年版国連人口推計（年央推計）
(2) 当社ウェブサイト https://www.lixil.com/jp/stories/stories_34/

6

2025年3月期 上期決算ハイライト

前年同期比で増収増益

■ 売上収益 7,398億円、前年同期比 75億円増

- 2Q3ヵ月（増減率）：国内 -2%、海外 +1%（為替影響除く、-2%）
- 上期6ヵ月（増減率）：国内 -1%、海外 +5%（為替影響除く、-2%）

■ 事業利益 105億円、前年同期比 17億円増

- 2Q3ヵ月（増減額）：LWT +68億円、LHT -17億円、連結調整/他 -3億円
- 上期6ヵ月（増減額）：LWT +79億円、LHT -48億円、連結調整/他 -14億円

■ EBITDA⁽¹⁾ 523億円、前年同期比 38億円増

■ 最終中間利益⁽²⁾ -39億円、前年同期比 44億円減

- 2Q3ヵ月：事業利益の増加により前年比18億円改善
- 上期6ヵ月：金融費用・税金費用の増加により前年比44億円悪化



(1) EBITDA=事業利益+減価償却費
(2) 最終中間利益=親会社の所有者に帰属する中間利益

7

2025年3月期 第2四半期（中間期）連結業績結果

(億円)	上期 6ヵ月				第2四半期 3ヵ月		
	24/3期	25/3期	前年同期比	%	25/3期	前年同期比	%
売上収益	7,322	7,398	+75	+1.0%	3,700	-31	-0.8%
売上総利益	2,341	2,412	+70	+3.0%	1,238	+53	+4.5%
(%)	32.0%	32.6%	+0.6pt	-	33.5%	+1.7pt	-
販管費	2,253	2,307	+54	+2.4%	1,140	+6	+0.5%
事業利益 ⁽¹⁾	88	105	+17	+18.9%	99	+48	+93.8%
(%)	1.2%	1.4%	+0.2pt	-	2.7%	+1.3pt	-
非継続事業を含む 最終中間利益 ⁽²⁾	5	-39	-44	-	19	+18	-
EPS (円)	1.70	-13.69	-15.39	-	6.70	+6.31	-
EBITDA ⁽³⁾	486	523	+38	+7.8%	306	+55	+21.7%
(%)	6.6%	7.1%	+0.4pt	-	8.3%	+1.5pt	-

- 売上総利益率：前年同期比0.6pt良化
- 販管費：国内IT償却費の増加、為替影響による海外販管費の増加を主因に前年同期比54億円の増加（日本+49億円、海外-51億円、為替換算影響+57億円）。販管費率は、0.4pt悪化
- 事業利益率：前年同期比0.2pt良化

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する中間利益

(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

8

2025年3月期 第2四半期（中間期）業績概況

LWTは、日本・海外事業ともに増収増益。

LHTは、新築向け売上の低調が影響し減収、窓リフォーム売上が計画比低調に推移

(億円)		上期 6ヵ月			第2四半期 3ヵ月	
		24/3期	25/3期	前年同期比	25/3期	前年同期比
LWT	売上収益	4,361	4,550	+189	2,261	+41
	事業利益	73	152	+79	103	+68
LHT	売上収益	3,009	2,900	-108	1,466	-69
	事業利益	186	138	-48	85	-17
全社/ 連結調整	売上収益	-47	-53	-6	-27	-4
	事業利益	-171	-186	-14	-90	-3
合計	売上収益	7,322	7,398	+75	3,700	-31
	事業利益	88	105	+17	99	+48

為替影響⁽¹⁾

上期6ヵ月：売上収益 +176億円、事業利益 0億円
2Q3ヵ月：売上収益 +38億円、事業利益 +1億円

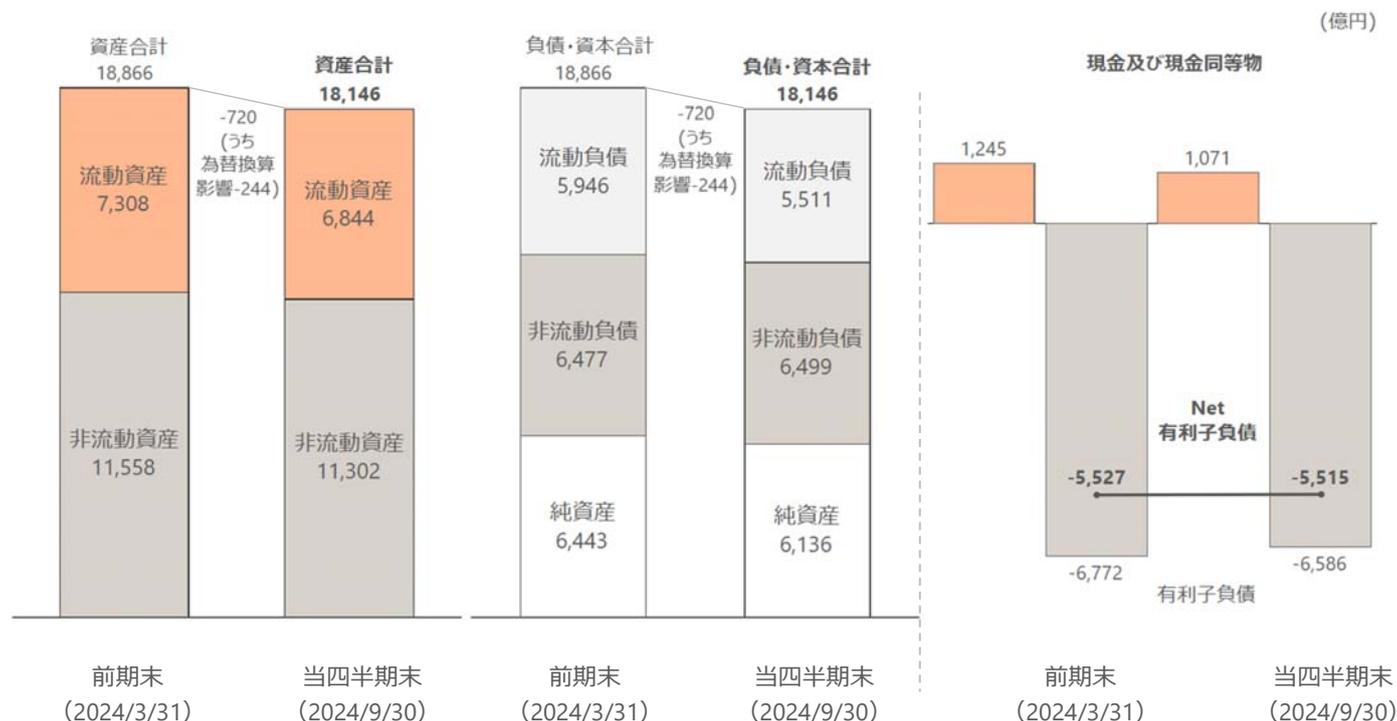
LIXIL

(1) 在外子会社からの損益の為替換算影響額

9

連結財政状態

為替影響による純資産減少、ならびに、有利子負債の減少により、自己資本比率は33.7%



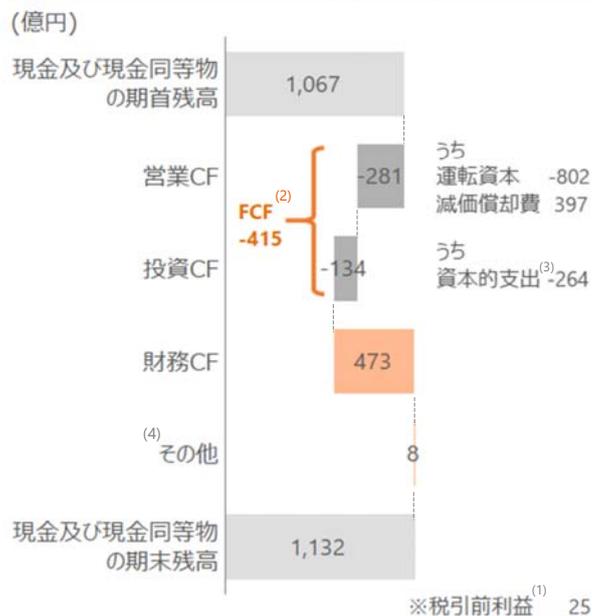
LIXIL

10

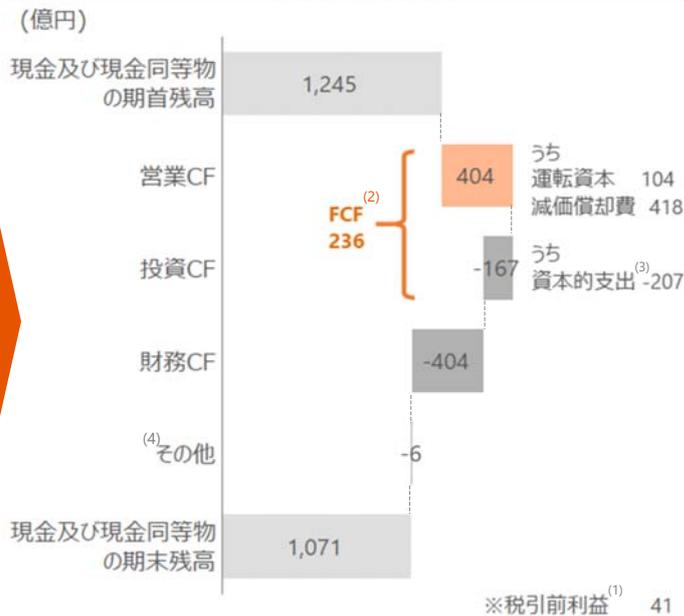
キャッシュフローの状況及び現金残高

運転資本の前年同期比改善により、営業キャッシュフローのプラスが継続。フリーキャッシュフローは、前年同期比で652億円改善

24/3期 上期⁽¹⁾



25/3期 上期⁽¹⁾



LIXIL

(1) 非継続事業を含む

(2) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算

(3) 資本的支出=有形資産の取得+無形資産の取得 (IFRS16リースによる使用权資産の取得を除く)

(4) 「その他」= 為替換算影響額+売却目的保有資産に含まれる現金及び現金同等物の増減額

11

セグメント別決算の概要



ウォーターテクノロジー事業 (LWT)



ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

12

ウォーターテクノロジー事業 (LWT)

日本事業は増収増益、海外事業も欧州地域の売上改善により増収増益

	(億円)	25/3期 上期実績	前年同期比		25/3期 業績予想
			増減	%	
日本	売上収益	2,062	+59	+2.9%	4,390
	事業利益	90	+8	+9.6%	210
	%	4.3%	+0.3 pt	-	4.8%
海外	売上収益	2,489	+130	+5.5%	5,190
	事業利益	63	+71	-	185
	%	2.5%	+2.9 pt	-	3.6%
LWT合計	売上収益	4,550	+189	+4.3%	9,580
	事業利益	152	+79	+107.7%	395
	%	3.3%	+1.7 pt	-	4.1%

売上収益

- **日本**：新築着工数の落ち込みの影響を受けるが、価格改定、及び、新商品・リフォーム売上増加により前年同期比で増収
- **海外⁽¹⁾**：欧州地域にて売上改善するも、米国の需要低迷継続により、現地通貨ベースで減収、円貨では増収
- **海外売上比率**：前年同期比0.6pt増の54.7%

事業利益

- **日本**：新築着工数の落ち込みならびに販管費増の影響を、リフォーム売上の増加と価格改定効果にてカバーし、前年同期比増益
- **海外⁽¹⁾**：欧州・中東の売上改善ならびに構造改革効果により、前年同期比増益

ウォーターテクノロジー事業 (LWT) 海外地域別売上収益

地域別売上 (マネジメントベース) ⁽¹⁾ (億円)	25/3期 上期実績	前年同期比		25/3期 業績予想	前年同期比 現地通貨 ベース
		現地通貨 ベース			
アメリカ	868	-8%	(2)		+3%
欧州、中東、アフリカ地域	1,057	+10%			+6%
中国	222	-12%			+1%
アジア太平洋地域	283	+3%			+10%
連結調整・他	59	-			-
LWT海外合計 (制度会計ベース)⁽¹⁾	2,489 (前年同期比 +6%)			5,190 (前年同期比 +9%)	

■ アメリカ

需要低迷継続により、現地通貨ベース、円貨共に減収

- ✓ 米国で利下げ開始するも、主力のリフォーム市場の需要回復に至らず、現地通貨ベースで減収
- ✓ 商品・販売先構成のシフトならびにコスト削減施策効果による収益性向上に努める

■ 中国

不動産市況低迷により、現地通貨ベース、円貨共に減収

- ✓ 消費者需要の低迷は継続
- ✓ 小売り向け販売の競争環境悪化により減収

■ 欧州、中東、アフリカ地域

欧州地域において売上改善、中東が引き続き好調により、現地通貨ベース、円貨共に増収

- ✓ 欧州は、新商品効果・販売施策により売上改善。浴室・シャワー関連商品の売上改善と生産性向上が収益性改善に寄与
- ✓ 中東は堅調な需要継続により全地域で増収

■ アジア太平洋地域

地域により売上増減あるも、現地通貨ベース、円貨共に増収

- ✓ インドはプロジェクト向け売上好調により増収、ベトナム・タイは景況感の悪化による不透明感により小売り向け売上の販売低調となり減収

LIXIL

(1) 制度連結会計 為替レート： 25/3期 上期実績1USD=152.30円、1EUR=165.46円

マネジメントベース為替レート： 25/3期 1USD=150.0円、1EUR=162.0円

(2) DPI社の解散に伴い、同社の売上を昨年実績から除いています。DPI売上を昨年も加えた前年同期比は-11%となります

14

ハウジングテクノロジー事業 (LHT)

日本事業における新築の落ち込みを受け減収減益

	(億円)	25/3期 上期実績	前年同期比		25/3期 業績予想
			増減	%	
日本	売上収益	2,770	-113	-3.9%	5,955
	事業利益	132	-48	-26.7%	365
	%	4.8%	-1.5pt	-	6.1%
海外	売上収益	130	+5	+4.0%	275
	事業利益	7	0	+0.9%	15
	%	5.1%	-0.2pt	-	5.5%
LHT合計 ⁽¹⁾	売上収益	2,900	-108	-3.6%	6,230
	事業利益	138	-48	-25.7%	380
	%	4.8%	-1.4pt	-	6.1%

売上収益

- 窓リフォームの受注増加により、リフォーム向け売上が進捗するも、新築向け売上低迷、前期売却事業の売上剥落により、前年同期比で減収

事業利益

- 新築着工数の落ち込みならびに資材費・販管費増の影響を、リフォーム売上とミックス売価効果でカバーできず、前年同期比減益
- 前年1Qに計上された在庫評価益の剥落影響あり

LIXIL

(1) 2025年3月期上期実績 (ご参考)

LHTビル事業除く
ビル事業 売上収益 2,412億円、事業利益 111億円、事業利益率 4.6%
売上収益 488億円、事業利益 27億円、事業利益率 5.6%

15

➤ (ご参考) データ集

16

➤ 商品・サービス別売上状況

LWT関連商材は堅調なリフォーム需要に加え、新商品と価格改定効果により前年同期比プラスで推移。LHTでは、新築向け売上減少を窓リフォーム向け売上により一部カバー

セグメント	主要商品名	(億円)				(%)					
		24/3期 通期実績	24/3期 上期実績	25/3期 上期実績	前年 同期比 (%)	前年同期比				25/3期	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
LWT	衛生機器** (1)	1,065	498	534	+7.3% (1)	-2.2	-3.7	+2.3	+3.0	+5.7	+8.7
	バスルーム	899	436	447	+2.4%	+3.0	+0.1	+3.6	+5.1	+4.2	+0.6
	洗面化粧台 (1)	389	184	173	-6.1% (1)	+0.7	-1.9	+1.7	+1.8	-5.8	-6.4
	キッチン	978	468	476	+1.6%	-5.2	-5.0	-1.0	-1.2	+2.3	+1.0
	タイル	313	151	145	-3.6%	-1.1	-0.8	-3.0	-2.9	-0.9	-6.2
LHT	住宅サッシ	1,854	965	944	-2.2%	+14.6	+22.8	+16.2	-5.6	+1.3	-5.4
	エクステリア	947	478	469	-1.9%	-6.6	-7.1	-6.8	-6.3	-0.5	-3.4
	インテリア建材	587	287	275	-4.3%	-7.4	-9.2	-3.7	-5.4	-3.7	-4.9
	その他LHT	424	219	191	-12.7%	+1.8	+0.4	-2.3	-12.1	-12.1	-13.3
	ビルサッシ	998	464	488	+5.1%	+12.1	-4.9	+8.1	+3.7	+2.0	+8.0
	住宅・サービス事業	228	127	94	-25.8%	-9.5	-4.6	-29.3	-19.8	-26.7	-25.0
	海外売上 (2)	5,021	2,483	2,618	+5.4%	-5.8	-1.6	-5.3	-3.6	+9.9	+1.2
	その他・連結調整等	1,128	562	544	-						
売上合計	14,832	7,322	7,398	+1.0%	-0.3	+0.2	-0.1	-3.2	+3.0	-0.8	
(ご参考) **「衛生機器」に含まれる水栓金具の売上状況											
LWT	水栓金具	258	119	128	+7.3%	+7.3	-0.7	+9.1	+2.2	-0.3	+15.3

日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

リフォーム商材売上構成比2.4pt上昇。LWTは堅調なリフォーム需要に販売施策が奏功し、リフォーム比率が向上。LHTのリフォーム売上は、直近3カ月は前年並みに推移

(億円)	上期 6か月				第2四半期 3か月	
	24/3期実績 ⁽¹⁾	25/3期実績	増減	前年同期比	25/3期実績	前年同期比
リフォーム商材売上	1,761	1,847	+86	+4.9%	942	+4.5%
LWT-J				+8%		+9%
LHT				+2%		0%
ビル事業除く				0%		-3%
ビル事業				+15%		+16%
リフォーム売上構成比	44%	46%	+2.4pt		47%	+2.9pt

セグメント別リフォーム売上構成比

リフォーム加盟店の推移⁽²⁾

	24/3期 上期	25/3期 上期	増減
LWT	51%	54%	+2.9pt
LHT	38% ⁽¹⁾	40%	+1.7pt
国内・計	44%	46%	+2.4pt

店	23年 3月	24年 3月	24年 9月
LIXILリフォームショップ (FC)	544	548	550
LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,224	11,173	11,089



(1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正
 (2) 2024年4月～リクシルPATTOリフォームサービスショップ制度はLIXILリフォーム店紹介サービスに統合しました

18

海外 - ウォーター事業における海外事業の成長促進の進捗

ブランド・ポートフォリオやグローバルな開発体制、差別化された商品の展開により、現地ニーズに迅速に対応し、海外事業の成長を促進⁽¹⁾

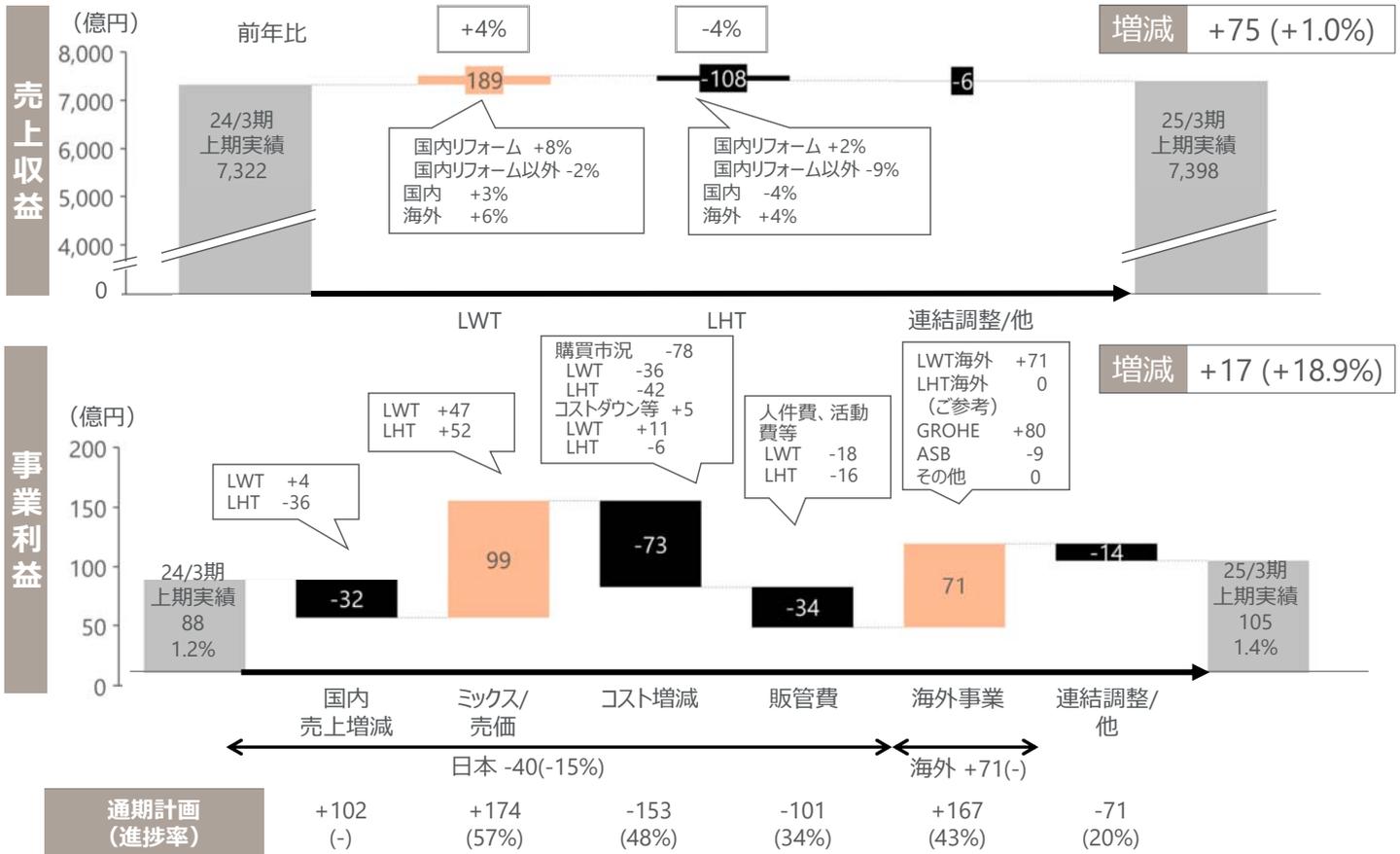
	25/3期 上期 6か月					25/3期 第2四半期 3か月				
	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域	海外事業合計	アメリカ	欧州、中東、アフリカ地域	中国	アジア太平洋地域
売上構成比										
水栓金具 (浴室)	41%	13%	61%	47%	42%	40%	14%	61%	47%	41%
衛生陶器等	42%	57%	25%	44%	54%	42%	58%	26%	43%	55%
水栓金具 (キッチン)	8%	5%	13%	5%	2%	8%	6%	12%	6%	2%
浴槽・シャワーシステム	9%	24%	0%	0%	1%	8%	23%	0%	0%	1%
その他	1%	2%	0%	4%	1%	1%	0%	0%	4%	1%
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
売上伸び率										
水栓金具 (浴室)	+7%	+2%	+14%	-16%	+6%	+6%	+1%	+12%	-17%	+12%
衛生陶器等	-2%	-5%	+5%	-5%	-1%	-1%	-7%	+15%	-5%	-1%
水栓金具 (キッチン)	+4%	+7%	+5%	-15%	-11%	+3%	+2%	+4%	-14%	+1%
浴槽・シャワーシステム	-14%	-15%	+11%	-20%	+9%	-15%	-15%	-17%	-22%	+25%



(1) LIXIL Playbookの優先課題『ウォーター事業における海外事業の成長促進』の進捗については統合報告書2024 p.31-35、44ご参照
https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/ir_material_for_fiscal_ym37/158025/00.pdf#page=32

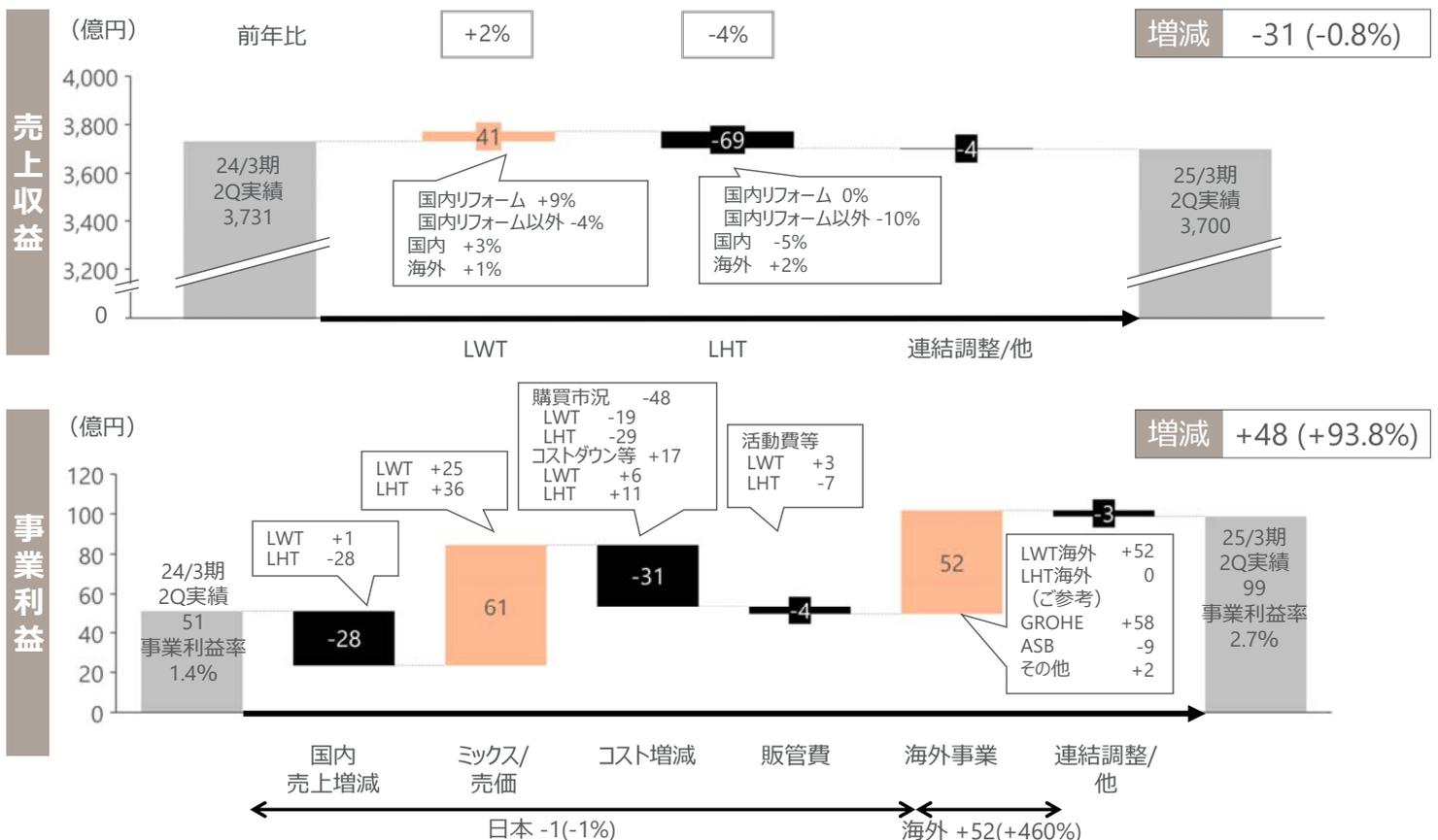
19

2025年3月期 上期（6ヵ月） 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

2025年3月期 第2四半期（3ヵ月） 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

2025年3月期 第2四半期（中間期） その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

	(億円)		増減
	24/3期 上期実績	25/3期 上期実績	
その他	25	35	+9
その他の収益	25	35	+9
有形固定資産処分損	8	4	-4
減損損失	5	3	-2
売却目的で保有する処分グループを売却コスト控除後の公正価値で認識したことにより発生した損失	11	-	-11
その他	24	34	+10
その他の費用	47	41	-7
受取利息	7	9	+2
受取配当金	6	7	+1
デリバティブ評価益	4	4	0
その他	2	2	0
金融収益	18	21	+3
支払利息	48	60	+12
為替差損	6	15	+9
その他	4	3	-1
金融費用	58	78	+20

■ その他の費用：構造改革関連費用含む

LIXIL

22

セグメント別 実績及び通期業績予想

		24/3期 上期			25/3期 上期				25/3期 通期予想				
		(億円)	日本	海外	計	日本	海外	計	前年同期比%	日本	海外	計	前期比%
LWT	売上収益	2,003	2,358	4,361	2,062	2,489	4,550	+4.3%	4,390	5,190	9,580	+6.8%	
	事業利益	82	-8	73	90	63	152	+107.7%	210	185	395	+73.9%	
	%	4.1%	-0.4%	1.7%	4.3%	2.5%	3.3%	+1.7pt	4.8%	3.6%	4.1%	+1.6pt	
LHT	売上収益	2,884	125	3,009	2,770	130	2,900	-3.6%	5,955	275	6,230	+4.5%	
	事業利益	180	7	186	132	7	138	-25.7%	365	15	380	+5.9%	
	%	6.2%	5.2%	6.2%	4.8%	5.1%	4.8%	-1.4pt	6.1%	5.5%	6.1%	+0.1pt	
連結調整・他 ⁽¹⁾	売上収益			-47			-53	-			-110	-	
	事業利益			-171			-186	-			-425	-	
LIXIL ⁽¹⁾	売上収益	4,886	2,483	7,322	4,832	2,618	7,398	+1.0%	10,345	5,465	15,700	+5.9%	
	事業利益	262	-2	88	221	69	105	+18.9%	575	200	350	+51.1%	
	%	5.4%	-	1.2%	4.6%	2.6%	1.4%	+0.2pt	5.6%	3.7%	2.2%	+0.7pt	

LIXIL

(1) 国内・海外の売上収益/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額

23

主要海外子会社

ASB (ASD Holdings) (百万米ドル)	24/3期					25/3期			上期 前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	累計	
売上収益	327	332	315	309	1,283	298	286	584	-11%
事業利益	-14	0	0	-10	-24	-12	-6	-19	-
事業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Grohe Group (グローエ) (百万ユーロ)	24/3期					25/3期			上期 前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	累計	
売上収益	373	360	343	380	1,457	390	393	784	+7%
事業利益	8	4	7	4	23	20	39	59	+402%
事業利益率	2%	1%	2%	1%	2%	5%	10%	8%	+6.0pt

ASB (ASD Holdings) (百万米ドル)	24/3期 残高	25/3期 上期残高
のれん ⁽¹⁾	248	249
無形資産 ⁽¹⁾	243	239

Grohe Group (グローエ) (百万ユーロ)	24/3期 残高	25/3期 上期残高
のれん ⁽¹⁾	1,195	1,195
無形資産 ⁽¹⁾	1,393	1,387

25/3期 上期実績

為替レート	期中平均	期末
USD	152.30円	142.73円
EUR	165.46円	159.43円

LIXIL (1) のれん及びその他の無形資産とその評価については、2024年3月期 有価証券報告書 p.151-153「14. のれん及びその他の無形資産」に記載
https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/youho_pdf/S100TO9T/00.pdf#page=151

24

（ご参考）事業関連・ESG関連トピックス

事業・ESG関連トピックス

製品を通じたCO₂排出量削減への寄与

循環型低炭素アルミ型材「PremiAL」 様々な業界で続々採用



(住友林業株式会社「みどりの社宅」)⁽¹⁾

- リサイクルアルミ使用比率100%の循環型低炭素アルミ型材「PremiAL R100」が住友林業の自社社宅に採用。中大規模木造建設では初導入
- 様々な業界での採用が進んでおり、脱炭素化社会に向けた取り組みが更に加速
- LIXIL独自の技術を通じて目指すアルミの「クローズドループリサイクル」について収録したリサーチペーパーも発行⁽²⁾

LIXIL

- (1) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2024080601>
(2) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2024100301>
(3) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2024091101>

国内の水まわり・タイル事業100周年 新商品展開加速

キッチン用ミネラル浄水栓「Greentap」が キッズデザイン賞を受賞⁽³⁾



- 「Greentap」は、LIXILの浄水技術とサントリー食品の美味開発技術から生まれたキッチン用ミネラル浄水栓で、家庭の蛇口から冷たく美味しいミネラル in ウォーターが楽しめる
- 水道水を飲めない子どもが増えているといわれる中で、水を飲む習慣づくりとなる「Greentap」がキッズデザイン賞を受賞
- 水まわり・タイルの国内事業が100周年を迎える中、他にもキッチン「リシェル」やトイレ「サティスX」などの新商品展開を加速

26

事業・ESG関連トピックス

意味のある製品デザイン

LIXILの19製品が 「Red Dot Design Award 2024」を受賞⁽¹⁾



- 権威ある国際的なデザイン賞「Red Dot Design Award 2024」でNODEA、TOSTEM、LIXIL、GROHE、American Standardのブランド19製品が受賞
- 独自の新技術「FORCE CARBON」を用い、窓史上かつてないエッジフレームを実現したNODEAのパノラマウィンドウ「SEAMLESS」は、最高位の賞「Best of the Best 2024」を受賞
- 今後もLIXILのPurpose実現に向け、技術・デザインの可能性を追求

LIXIL

- (1) ニュースリリース <https://newsroom.lixil.com/ja/2024081901>
(2) ニュースリリース https://newsroom.lixil.com/20240905_saudi (英語のみ)

海外事業の成長促進

サウジアラビアでGROHEの 新生産拠点が稼働⁽²⁾



- 2024年9月、GROHE製品の新しい生産拠点が、現地企業Zamil Plastic Industriesとの連携のもとサウジアラビアで稼働開始
- 本工場では、トイレの埋め込み型タンクを生産。市場投入までのスピードや環境基準を強化し、域内販売拡大に繋げる
- GROHEの先進技術を導入し、サウジの国家改革「ビジョン2030」に基づくインフラプロジェクトの機会獲得を推進

27

外部評価

GPIFが採用する6つのESG指数すべての構成銘柄に選定 (2024年7月時点)

Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数 (除くREIT) [2年連続]

MORNINGSTAR GenDi J

Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

TOP CONSTITUENT 2024

免責事項は当社ウェブサイト⁽¹⁾をご参照ください。

FTSE Blossom Japan Index⁽²⁾ [8年連続]
FTSE Blossom Japan Sector Relative Index⁽²⁾ [3年連続]



FTSE Blossom Japan



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

FTSE4Good Index Series⁽²⁾ [8年連続]



FTSE4Good

MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

免責事項は当社ウェブサイト⁽¹⁾をご参照ください。

MSCI日本株女性活躍指数(WIN) [8年連続]

2024 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

免責事項は当社ウェブサイト⁽¹⁾をご参照ください。

S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数 [7年連続]



DXグランプリ企業2024

「デジタルトランスフォーメーション銘柄」に選定 (3年連続)、「DXグランプリ企業2024」に初選定 (2024年5月)



DXグランプリ2024 Digital Transformation

LIXIL

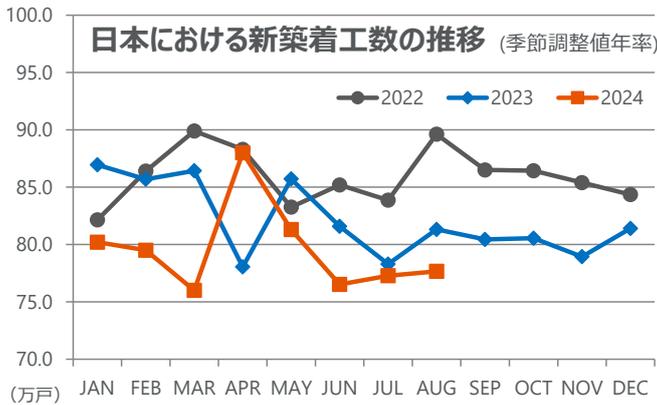
(1) 当社ウェブサイト <https://www.lixil.com/jp/about/evaluation.html>

(2) FTSE4Good Index Series <https://www.iiseg.com/en/ftse-russell/indices/ftse4good> (英語のみ)

FTSE Blossom Japan Index Series <https://www.iiseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan> (英語のみ)

28

事業環境

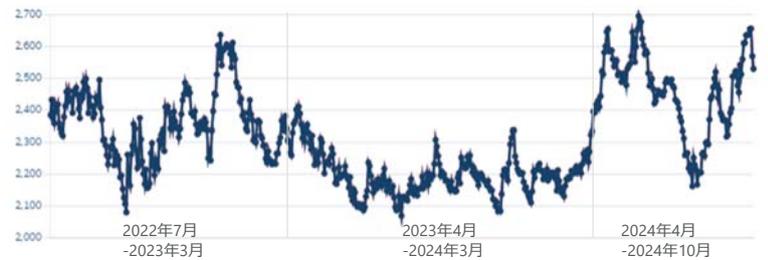


新築着工水準 (対前年比)

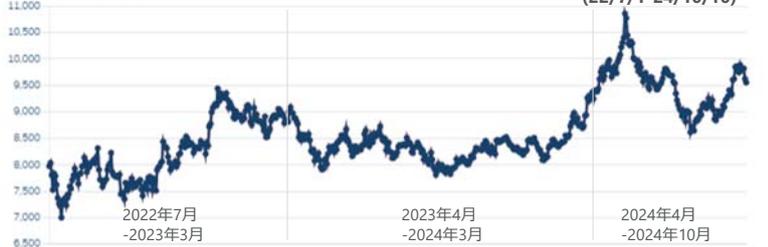
- 2024/1-6：-4.5%
- 2024/1-8：-4.1%

	2024年1月-8月 (8ヵ月)		2024年4月-8月 (5ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	525,887	-4.1%	343,611	-0.8%
持家(1)	141,488	-6.9%	93,739	-5.7%
貸家	228,329	0.0%	150,510	+2.4%
分譲マンション	70,494	-2.3%	45,014	+15.3%
分譲戸建(2)	79,933	-12.7%	50,243	-13.7%
戸建合計(1)+(2)	221,421	-9.1%	143,982	-8.7%

(米ドル) アルミ価格



銅価格



為替 (期中平均レート)	23/3期実績	24/3期実績	25/3期計画前提
米ドル	134.95円	144.40円	150.0円
ユーロ	141.24円	156.80円	162.0円

原材料価格の実績	23/3期実績	24/3期実績	25/3期計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	39.2万円/トン	33.5万円/トン	40.0万円/トン
銅合金価格	98.9万円/トン	100.9万円/トン	109.6万円/トン

LIXIL

29



この資料には、(株)LIXILの将来についての計画と予測の記述が含まれています。
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により
当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

MAKE BETTER HOMES A REALITY FOR EVERYONE, EVERYWHERE
世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現